



兼松が日本マニュファクチャリングサービス<2162>株式の大量保有 報告書を提出



日本マニュファクチャリングサービス<2162>について、兼松が4月6日付で財務局に大量保有報告書（5%ルール報告書）を新規提出した。

提出理由は「発行者との資本提携及び業務提携により関係を強化し、両社の事業シナジーの最大化を図るため」によるもの。

報告書によると、兼松の日本マニュファクチャリングサービス株式保有比率は、10.00%と新たに5%を超えたことが判明した。

報告義務発生日は、2015年3月30日。